No. 103

40. 5. 15

（昭和32年6月5日第3種郵便物認可）

市報 とおかまち

発行　十日町市役所（十日町市子の10番地　電話 代表 3111番）
昭和 40 年 5 月 15 日　　定価 1 部 5 円

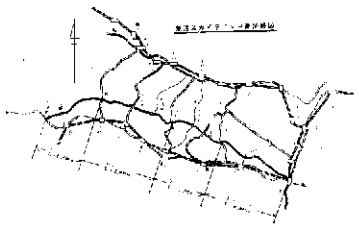
市のあらまし

面積	211.44 km²	
人口	50,391	男 24,083　女 26,308
世帯数	10,008	

魚沼スカイラインの調査始まる

今年度700万円で 6月中旬から実施

魚沼スカイラインは県の総合開発計画の一環として、自然景観としての雄大な観光資源と地理的条件にも恵まれている魚沼地帯の開発により、本県における観光産業の拠点として、京浜を含めた関東方面の観光客誘致を主体に開発を進めるべく計画されたものであります。このスカイライン完成の暁には、三国峠に通ずる国道十七号線の湯沢町迄約五キロ原峠を起点として、大峰山、十二峠、当間山、紫倉峠、大和町迄約一村尾峠、高山小出橋を結ぶ延長五十五キロ余の山岳観光道路が実現する事となり、更に県只見、日光へ通ずる観光道路が完成すると、魚沼スカイラインから大福街道を経て奥只見、日光へ結ぶ日本有数の山岳観光ルートが実現することとなります。またこれに伴い市内では、スキー場の開発として当間山一帯、大沢峠、栃窪峠、桝形山、四十日峠附近が、キャンプ場として当間山、大沢峠、坂窪峠、桝形山、笠置山、潜水峠、四十日峠が展望台として当間山、栃窪峠、桝形山、神水峠、笠置山等がそれぞれ有望視されております。今年度県ではこのスカイラインの調査費として七百万円の予算を計上し、六月中旬から十月下旬までこの測量調査を実施する予定になっております



補正予算などを可決

第三回市議会臨時会は去月二十六日開かれ、先に付託されていた請願について総財、建設委員長より審査報告があり、昭和四十年度一般会計補正予算及び国保、上水道など特別会計補正予算ならびに市税条例の一部改正案、県消防団員等公費組合規約の一部を改正する規約制定など、十一議案を審議した結果市税条例の一部改正案及び県消防団員等公費組合規約の一部を改正する規約制定の二件を総務財政委員会に付託したほかは原案通り可決されました。

議案処理の結果

(1)専決処分承認について（原案）

(2)新潟県消防団員等公費組合規約の一部を改正する規約制定について（総財付託）

(3)昭和四十年度十日町市一般会計補正予算（第二号）について（可決）

(4)昭和四十年度十日町市国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（第一号）について（可決）

(5)昭和四十年度十日町市国民健康保険特別会計直営診療施設勘定補正予算（第一号）について（可決）

(6)昭和四十年度十日町市上水道特別会計補正予算（第一号）について（可決）

(7)昭和四十年度十日町市簡易水道特別会計補正予算（第一号）について（可決）

(8)昭和四十年度十日町市公営住宅特別会計補正予算（第一号）について（可決）

(9)昭和四十年度十日町市と商場特別会計補正予算（第一号）について（可決）

(10)十日町市市税条例の一部を改正する条例制定について（総財付託）

(11)昭和四十年度十日町市一般会計補正予算（第三号）について（可決）

(12)仮称十日町公園造成に関する請願について（総財付託）

(13)市道諏訪町道路拡張並びに舗装に関する請願について（採択）

(14)田中西区水路改良工事に関する請願について（採択）

(15)市道四菱線改修に関する請願について（採択）

(16)下山都溝地内市道拡張並びに改修について（建改付託）

議長に樋口氏再任

副議長は柳宗平氏

第四回市議会臨時会は去る四日開かれ、総務厚生委員長の審査報告のあと、正副議長の選挙が行われ、議長に樋口政太郎氏が再選、副議長に柳宗平氏が選任されました。引続いて今月十三日に期満了となる常任委員会の委員並びに正副委員長の選任も行なわれました。

市議会だより

ほかにつぎのとおり水道委員と消防委員委嘱を決めました。

議案処理結果

◎新潟県消防団員等公費組合規約の一部を改正する規約制定について（可決）

◎十日町市税条例の一部を改正する条例制定について（可決）

◎議長の選挙について

議　長　樋口政太郎

◎副議長の選挙について

副議長　柳　宗平

◎常任委員の選任について

◎総務財政委員会委員（八名）

福島正平、▼佐内貞、▽塩川好司、越村勝治、笠井隆松、樋口政太郎、山田桂、村山正明

◎文教厚生委員会委員（八名）

大鳥居治、佐藤利雄、井口吉清、矢口正雄、阿部ケイ、▽山田正邦、▼斉木正義、村山政一郎

◎建設委員会委員（七名）

小林勝平、▽島田直治、尾身美教、阿部周作、▼山口秀二

◎公営企業委員会委員（七名）

井口吉清、▽島田直治、石坂正隆、庭野吉郎、柳宗平、越村勝治、樋口政太郎、阿部周作

◎消防委員

佐藤利雄、庭野健蔵、久保田鶴一、村山政一郎、斉木正義、山田桂、丸山治政

◎水道委員

井口吉清、島田直治、石坂正隆、庭野吉郎、柳宗平、越村勝治、樋口政太郎、阿部周作

異常天候に注意

元肥をひかえ目に!!

新潟気象台の予報通り今年の天候は異常を極め、両代作業も十日から二十日おくれ、播種後です。今後の天候いかんにもよりますが、今年は米作り農業の試練の年であるようです。

百年に一度とも云われている今年の異状天候を克服するため、田植え前後の作業に当り次の点に注意して下さい。

①チッソをひかえ目にして全層に施肥しよくかきまぜること

②丈夫な苗を早く植えること

③出来るだけ浅植えにすること

④おそ苗でニマカ日に植えること

⑤田植直後は深水にすること

福祉年金の届出は早目に

現在福祉年金（老齢、母子、障害、福祉年金）を受けておる人は五月六日より五月末の福祉年金が指定郵便局で支払われておりますから至急お受取り下さい。

毎年五月期の支払をうけると福祉年金所得状況届、一般には定時届とも呼んでいますが、この届を提出することになっております。この届は福祉年金を受けている人が前年に所得があったかなかったか、配偶者又は扶養義務者の前年の所得の額はといった事項を記入して県知事あてに届出るわけです。郵便局で支払いをうけたら、市役所年金係または各出張所へ「国民年金証書」と「印鑑」を持参し所得状況届の手続を済ませたうえ、年金証書の保管証を受け取って下さい。このつぎの支払いは九月末日からですが、この届出を至急しないと九月期の支給に間に合いませんし、又この届出をしないとせっかくの福祉年金が受けられませんので至急届出を出して下さい。

六月から着工

十日町の新駅舎

十日町駅を新しくたてなおす工事は、六月中旬ごろから始められるということで、料亭たてまえ、待合室にも暖房設備がはどこされます。このため工事期間の約半年間、駅の業務は仮駅舎をたてて行なわれますが、仮駅舎は国鉄の院側にある貨物上屋を改造して使われることになっておりますが、仮駅舎の広さは現在の待合室とほぼ同じくらいです。

なお、この工事期間中駅構内が工事のため多少混雑も予想されるところから、各種の事故がないよう充分な注意をと駅側では要望しています。

春日駅長の新駅工事期間中はいろいろな面でお客さまにご不便をおかけすると思いますが、ケガということが一番心配で、不便のなかにも安心して乗っていただくように充分努力致します。

完納にご協力を

滞納されている方は
5月31日までに
市役所会計係又は出張所へ
お納めの下さい。

5万円を寄付

西寺町 菅村さん

西寺町菅村三好さん（五十九歳）は、三年前より東京の病院で療養生活を続けておりましたが、この度全快いたした喜びを社会奉仕に役立てて戴いまして、五万円を寄付して下さいました

中華料理講習会

日時　五月二十二日（土）午後一時～四時
場所　十日町市中央公民館
講師　芽生会小川公吉先生他
会費　百円

◎希望者は婦人会又は中央公民館へ申し込んで下さい。

市民魚釣大会

日時　六月六日
場所　人　洲

郵便振替貯金のおすすめ

最近産業経済の発展にともなって、いろいろな面で送金することが多くなってまいりましたが、振替貯金は安い料金で手軽に確実に送金ができ、また小切手の振り出しもできる等、送金および商決済の手段として近代生活になくてはならない便利な制度です。この際皆さまの経済生活の合理化のため、振替貯金にご加入のうえ、お気軽にご利用ください。

なおご加入の手続は「振替貯金加入申込書」（郵便局の窓口にあります）に加入料金五十円を添えて、お近くの郵便局にお差し出しになりますと二、三日中に口座番号を決定してご通知を差し上げます。

振替貯金のご利用のしかたなど詳細はお近くの郵便局へ。

電話架設

商工会議所に間借りしている市商工課の電話が架設されました。番号は三一一一番

昭和四十年度中小企業設備近代化資金取扱い始る!!

この制度は毎年国が中小企業育成の為に県内の中小企業者の設備の近代化に要する資金を貸付るものですから御利用下さい

◇貸付対象者
原則として同一業種について三年以上の営業の経歴を有している中小企業者で、国が指定する企業

◇貸付限度　三百万円以内

◇貸付率　所要資金の二分の一

◇金利　無利子

◇償還期間　第一期四月二十八日～五月三十一日、第二期七月一日～七月三十一日まで

詳細については市役所商工課又は商工会議所へお問合せ下さい。

31日まで 明るく、正しい 選挙強調月間

三年に一度の参議院議員通常選挙が、本年六月に行なわれる予定です。

選挙をよくし、政治をよくする運動の名称として親しまれてきた「公明選挙」を新らしい時代の要請にふさわしい国民の誰にでも、わかりやすく親しまれるため、自治省では全国からこれに変わる名称を公募した結果『明るく正しい選挙』という名称が決まりました。

従って公明選挙推進協議会も明るく正しい選挙推進協議会と名称を変更しました。

今年は普通選挙施行四十周年に当りますし、婦人参政二十周年に当ります。また国民がはじめて参政権を行使してから七十五周年に当る、選挙にとっては大変意義深い年であります。この意義ある年と参議院選挙を目の前において、五月一日から三十一日までを「明るく正しい選挙強調月間」として全国的に運動が展開されます。市選管でも、

選挙人名簿に登録されていないと投票できません。登録の申出は選挙の告示又は、公示の前日迄に市役所選管事務室又は、各出張所へ

この期間に①広報車による宣伝②成人者に白ペラの葉書③自動車によるパンフレット等を行ない、みなさんの選挙に対するご理解とご協力をお願いします。

参議院選挙総参加運動

参議院選挙に、いままで他の選挙と比べて投票率が低くなっています。（前回は全国平均六十八%、市は七十五%）その原因は、選挙区が広いことなどから、身近かな選挙でないとかいろいろあるにしても、民会の中において果す良識の府としての役割の重要性を考え、またわたくしたちの投票が政治として、わたくしたちの生活にはね返ってくることを考えて、一人の棄権もなく投票するように「明るく正しい選挙総参加運動」が行なわれます。

優良投票区を表彰

市選管では、この明るく正しい選挙総参加運動」としてみなさんに明るく正しい、選挙違反のない選挙を呼びかけることはもちろんでありますが、棄権防止についても一そう強力に推進したいとおもっています。そこで選挙の結果、投票率のよい十投票区に記念品を贈って表彰することになっています。

成人おめでとう

本年度の成人者八七七名

——会場をうめた成人者——

本年度の成人式は、去る九日（日曜）市民体育館で盛大に行なわれました。ことしも成人式にふさわしい日本晴れとなり、男子三百八十七名、女子四百九十名の成人者は、心新たに明るい希望に胸をふくらませていました。式に小川助役の開会宣言につづいて、村山市長、樋口議長、選管委員長の祝辞があり、「生活記録」の入選発表と表彰式が行なわれ、東京オリンピック体操ゴールドメダリスト、日本大学講師遠藤幸雄先生の記念講演のち、石井綾子バレー教室のバンドがあって式を閉じました。なお、各賞の入選者はつぎのとおりです。

▽市長賞一席

小海サナエさん

「助教師として」
小海サナエ（名ケ山）

▽同　二　席
「縁側として」
柳　チヨ子（袋　町）

▽議長賞一席
「暖かな人々」
小海キヨミ（富田町）

▽同　二　席
「張られた夢」
谷口　求（松　代）

▽教育委員会賞一席
「母と成人式」
金沢　芳夫（太田島）

▽同　二　席
「母ちゃんとよぼう」
若山　恭庸（宮沢織物）

▽選挙管理委員会賞一席
「社会に望むもの」
堀　和夫（福　祭）

▽同　二　席
「小さな夢」
須藤　尚美（〃　）

交通暴力の一掃へ

春の交通安全運動

春の全国交通安全運動が、去る十一日から展開されていますが、県では人命尊重の見地から交通事故防止の徹底、とくに歩行者の交通事故の絶滅を目標に①交通暴力の一掃、②歩行者保護の徹底、③踏切での一時停止の励行、④酒気帯運転の車輌および人員管理体制の強化、⑤歩行者マナーの徹底などを重点実施事項として、運動をくりひろげます。一人々々の注意によって交通事故がなくなるよう、みんなで協力しましょう。

市税条例の一部改正のお知らせ

このたび地方税法の一部改正により市税条例の一部が次のように改正され、去る四月一日から実施されました。

(1)個人市民税の非課税範囲の引上げ

寡婦者、未成年者、老年者で前年所得が二十万円までを二十二万円と二万円引上げたこと

(2)法人市民税の税率の引上げと

(3)軽自動車税の税率の引上げ現行軽自動車税のうち、四輪以上のもので乗用のものについてのみ、三千円を四千円に引上げたこと

(4)均等割の税率

現行年税額千八百円を二千円としたこと

(5)所得割の税率

現行百分の九・七を百分の十・一としたこと

「五の日」は税の相談日

出稼者職業相談所を設置

出稼者職業相談所
十日町市社会福祉事務所内
係　宮沢　彦一
出稼者職業相談員
水沢出張所主任　植田　忠雄
出稼者職業相談員
六ケ出張所主任　霜垣　正秋
出稼者職業相談員
吉田出張所主任　太田　義英
職業安定協力員
下条出張所主任　近藤　豊

質流れ品公売

一、日　時　五月二十八日、午前九時～午後四時
一、場　所　福祭会館
一、公売品　洋服、和服、腕時計、御召反物、指輪、テレビ、トランジスターラジオ、ラジオ、プレーヤー、写真機、スライド映写機、掛軸、オーバー、毛糸編機、電気掃除機、革ジャンパー、雑衣類、その他

二十才の記録

公民館では、毎年成人になって行く二十才の青年達から生活記録を書いていただいて、これを「二十才の記録」という文集にまとめています。この中には青年達の純粋な声がたくさんちりばめられていて、読む人の心をとらえます。今年の「二十才の記録」から青年達の声を聞いてみましょう。

かあちゃんとよぼう

若山　恭庸

かあちゃん
はたちになりました
おれがおさなかったころは
とおちゃんはせんそうにいって
いなかったし
としおいたちちははたよれな
かっただろ
のうちかいぼうでやっとじぶん
のものになった　とぼしいしたは
それでもかあちゃんは
おんなでひとつでまもりとおしてきた
かあちゃんはわかかった　しょ
うじきだった　がんばった
いきてかえってくるだろうとお
ちゃんのために
まだおさなかったおれのために
おれはとぼしいなかから
こうこうまでだしてもらった
でっかくなった
でっかくなるにつれてかあちゃ
んはちいさくなっていく
まっくろいかおにこじわもふえ
それでもまだはたらく
もっとでっかくなっていかなけ
ればならないおれのために
かあちゃん
おれははたちになりました
だからおれは
どんなにかあちゃんがこしがま
がっても
おさないこころからの
かあちゃん　ってよびたいんだ

小さな夢

須藤　尚美

私の小さな夢はまだ二、三年先の事です。いつか農業離れである農村の嫁不足という記事を読んでからこの夢がうまれました。それによると、農家の若い娘さんは百人のうち半数以上が農家に嫁ぎたくない、といっています。その理由は、現金収入がない、自由時間がない、姑さんがいる、という事でした。

農家に生まれ農家に育った私は、農家の苦しさを少からず知っているつもりです。昔に比べ、労働がらくになった反面、近代化は進み物価は上り、現金がいるのに比較して米価は安く現金収入が少なく、生活は苦しくなるばかり。でもこの辺では繊維物があるおかげで、大なり小なり現金が入りますので少しはいいのではないかと思いますが。

私は繊があるなら農家に嫁ぎたいと思っているのです。それは農業というものが好きだからです。小さな種が芽をふき、大きく育って実をつけ、それを収穫する時、他の仕事では味わいない喜びを感じます。そしてその仕事が一本一本絣をたらべていく今の仕事よりも私の性格にあうような気がするのです。その時にならなければわかりませんが、姑さんの事はその人の考え方だと思います。自分が年をとったらやっぱり姑になるのじゃないか、と思えばそんなにいやがる事もないし、わからない事に姑さんに聞かれるという事もあります。

しかし現実はもっときびしいものなんだ、といわれるでしょう。私の考えがあまさまで現実とかけはなれ、ただの夢に終ってしまうかもしれませんが、ただの夢で終らないように私はこれからの農業を少しずつ勉強していきたいと思っています。

市議会②

議会の集め方

それでは、次に議会というものはどのようにして集められるか、即ちこれを議会の招集といっております。もちろん、議会というものは議員全部が集まる会議であります。しかしこの議会には二通りありまして、毎年時期を決めて集められる議会、これを定例会と名づけます。それから臨時に問題がおきたときに集められる議会、これを臨時会と名づけます。最初の定例会というのは、法律で毎年四回集めなければならないことになっておりまして、集める時期に何処の市、町によっても自由に決めておくことが出来ます。

十日町市の場合でありますと毎年三月、六月、九月、十二月というふうに決めております。そこで議会は誰れが集めるかということであります が、定例会も臨時会も市長が集められます。ただ臨時会というのにも市長の考えで開く場合と、法律の定めによって市議会議員の四分の一以上の人から議会を開いてくれという要求があったときに市長が開く場合、この二つがあります。例えば十日町市の場合でありますと、三十人のうち四分の一、つまり八人以上の議員から議会を開いてくれという請があったときに、市長は議会を集めなければならないわけです。また、議会は別の名で本会議とも云っております。

滝沢、福崎さんに感謝状

優良統計調査員

——小川助役から伝達を受ける滝沢、福崎さん——

市ではこのほど各種統計調査に功績のあった市内本町一丁目製麺業滝沢文吉（四十九）と、高田町三丁目農業福崎満さん（三十五）の二人を優良統計調査員として表彰し、記念品と感謝状を贈りました。二人とも昭和三十、三十一年から事業所調査、商業調査、工業調査、「国勢調査」など各種統計調査員として、つねに正確と迅速をもって調査に従事しておられたものです。